

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月17日
事業名	こころといのちのサポート事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	6
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成23年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	自殺予防のため				
対象 (誰を・何を)	町民、職員				
内容	こころの健康セミナー、ゲートキーパー研修会、自殺予防週間にあわせた啓発活動（町内の公共施設等）				
根拠法令・条例等	自殺対策基本法 健康増進法 大磯町健康増進計画				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	340	30	300
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	340	30	300
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円			
	職員人数 (概算職員数)	人			0.20
	人件費計 (b)	千円			1,226
総事業費 (a)+(b)	千円	340	30	1,526	
事業費内訳 H 25 年度	こころの健康セミナー講師謝金：60千円 啓発物品：60,000円 ゲートキーパー研修テキスト印刷製本：180,000円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① こころの健康セミナー	人	32,791	32,587	32,625
	② ゲートキーパー養成	人	32,791	32,587	32,625
活動指標 (活動量)	① こころの健康セミナー	回	1	1	1
	② ゲートキーパー養成	回		1	2
成果指標 (達成度等)	① こころの健康セミナー	人	29	116	100
	② ゲートキーパー養成	人	—	116	120

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	自殺対策基本法、健康増進法に基づき市町村として取り組むべき事業と位置づけられている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	県や他市町村の動向を踏まえ、自殺予防を啓発するための講演会の開催、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援に繋げることができる人材（ゲートキーパー）の要請を継続的に行っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	平成24年度は自殺とその原因となるうつ病の講演会を行い一般住民116名が参加した。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他
	理由	講演会や研修会の講師の講演料については、県補助金を活用したり、積極的に県職員に依頼することにより支出を抑えている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	現在は、県補助金を活用して自殺予防対策に関する物品の購入等を行っているが、継続して事業（普及・啓発）を行っていくため、町予算の効率的な活用を検討する必要がある。
担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 県補助金を活用し、取り組みが展開できている。自殺数の減少を目的としているが、単年度の成果確認は困難である。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
自殺予防対策の取り組みや講演会の開催、ゲートキーパーの養成研修会の開催については、内容や周知方法等については専門家からの助言も含め、検討が必要と考える。
② 平成26年度に着手する事項
町民を対象とした講演会及びゲートキーパー養成研修会の開催並びに庁内連絡調整会議を開催する。
③ その他（課題、調整事項等）

6. 平成26年度事業への取り組み状況（改善内容等）

引き続き、町民を対象としたこころの健康をテーマとした講演会を実施していくとともに、自殺対策庁内連絡調整会議を開催し、町の取り組みについて検討する。9月の自殺予防週間に合わせ、啓発用トイレットペーパーを町公共施設に設置する。 平成25年度に職員を対象に行ったゲートキーパー養成研修の新採用職員等の対応を検討する。 自殺対策月間、週間に合わせて「自殺防止」を呼びかけるのぼり旗の設置、公用車両へのシート装着等、自殺予防に係る周知啓発活動を行う。
--